

診療所と訪問看護を併設した老人ホーム

# (株) ドゥーハビット



人のネットワークには、かけがえのない価値があります。

平成25年5月、大野川河川敷を望む丘の上に、ナースケアホーム松岡は開所した。

診療所を併設し、ホームに居ながらにして医療や訪問看護が受けられる同施設を運営する(株)ドゥーハビットの代表 佐藤 由一さんは、「ホームと医師との情報伝達を円滑にすることで、ケアを充実させることができる」と語る。

## 看護・介護・医療が連携

ナースケアホーム松岡は、「医療行為が提供できる老人ホーム」です。

併設の診療所で医療行為を受けられるため、特定疾患をお持ちの方、吸痰の必要な方など、医療を必要とされている方に、遠くの病院に通っていただくことなく、安心してご入居いただいています。

また、看護と介護と医療の連携ができるため、包括的に入居者様をケアさせていただくことができます。



併設の診療所

私の前職は看護師で、病院に勤務していました。前職で培ったノウハウを、看護師、介護福祉士、ヘルパーなどのスタッフに伝え、全体として高いレベルのケアを実践できるよう心がけています。



バリアフリーの和室



浴室



ホームからは大野川河川敷の眺望が楽しめる

## “葛藤”と“タイミング”

私が創業を思い立ったのは、会社を設立する半年前でした。

15年間、看護師としてのキャリアを積みましたが、そのスキルを十分に生かせる業務環境が得られず、自分の中に葛藤が生じていた時期でした。

その頃たまたま、知人から、「サービス付き高齢者住宅」の開設についての情報をいただきました。

「独立」について以前から興味を持っていたこともあって、具体的にホームの事業化について検討していく中で、自身の強みである医療、看護に関する人脈とノウハウを活かす現在のビジネスモデルにたどり着き、創業を決意しました。

## 勝手にわからず、苦労した創業準備

「創業しよう」と決めてから、知人のアドバイスを受け、金融機関に相談しました。

創業資金の多くは金融機関から借り入れたのですが、事業計画の詳細については、金融機関の担当者へ書き方等をアドバイスしてもらいました。

金融機関と話をする際、担当の方は、「コンセプトがしっかりしているか」「やる人がどんな人か」を見ているのではないのでしょうか。

私が幸いにも借入を受けられたのは、おそらく金融機関にコンセプトの独自性と熱意を認めていただけたからだと思います。

資金調達よりも苦労したのは、事業所の建築、造成や、各種申請・届出などでした。

勝手にわからず、試行錯誤の連続でした。

この苦しい時期に、助けてくれたのが、「人のネットワーク」です。

損得なしに相談に乗っていただき、多くの方に助けていただきました。

大変ではありましたが、刺激があって、貴重な経験でした。

友人からは、多額の借入をしながら、試行錯誤で創業準備を進める私を見て、「クレイジーでなければできない」と言われたこともあります。

創業を目指す熱意と、多くの方々の助けがあったからこそ、施設開所までこぎ着けられたのだと思います。

## 人を大事に、誠実に

これから創業を目指される方には、「人を大切にしてください」と申し上げたいです。

私は、多くの方の助言を受け、きっかけをいただき、創業することができました。

人のネットワークには、かえがえのない価値があると思います。

ネットワークを作っていくためには、まず自分に熱意がなければなりません。熱意をもって誠実に人と接していれば、時間はかかりますが、認めてくださる方がいらっしゃいます。

私は、様々な人と知り合い、信頼していただくため、まずは自分が誠実でありたいと思っています。



代表の 佐藤 由一 さん

## DATA

企業名：(株)ドゥーハビット

施設名：ナースケアホーム松岡

業種：住宅型有料老人ホーム  
デイサービス

訪問看護ステーション

代表者：佐藤 由一

創業：平成24年3月

(施設開所は25年5月)

住所：大分市大字松岡字平の迫537-2

TEL：097-574-6689

URL：<http://nc-matsuoka.com/>